



ぎょうだ蔵めぐりあるぎ

第14回



使って楽しい
足袋(蔵)くらし

2018
4/21(土)・22(日)

am10:00~pm16:00 (22日は15:00終了)

スタンプラリー受付：足袋蔵まじづくりミュージアム
(埼玉県行田市行田 5-15) 秩父線行田市駅徒歩3分、
JR 吹上駅より朝日バス乗車
「商工センター」「行田本町」下車徒歩3分

参加券付マップ：大人 200 円／小人 100 円

※足袋とくらしの博物館「無料入館券や
「ボンネットバス」無料乗車券付
※ボンネットバスに乗るにはスタンプラリーの受付が必要です

お問合せ：tel.048-552-1010 www.tabigura.net
主 催：NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク

【予定イベント】

ボンネットバス運行、人力車体験、手打ちそばの実演販売、藍染体験、アーツ&クラフツ(展示販売)、足袋の製造実演販売、
足袋屋横丁、音遊び体験、ゼリーフラインなど飲食出店 他 ※イベントは都合により変更になる場合もあります。ご了承ください。



- 当日着物でご参加の方
- スタンプラリー参加費無料!
 - MY 足袋づくり体験
1000 円割引券プレゼント!



NPO 法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク



①足袋蔵まちづくりミュージアム
(行田市観光ステーション)まちづくり情報センター。
明治39年の栗原代八商店の足袋蔵を活用。

第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
受付





ここは行田の『今津蔵』2018.05.03

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」今津蔵の当主、今津徳之助氏は、郵便局、電話、電灯、馬車鉄道など行田の近代化に尽力し「行田の渋沢栄一」と言われたそう。あの「田舎教師」の舞台。<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=3>



⑥今津印刷所(今津蔵)

江戸後期～末期の建設と思われる現存する行田最古の店蔵です。店舗後ろは“半蔵造り”になっています。江戸・元禄年間創業の老舗印刷所です。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき

田代蔵

「きくわ足袋」の商標で知られた田代鐘助商店の蔵造り。
大正時代建設の住宅、昭和2年と大正時代初期の建設と伝えられる
足袋蔵二棟が、細長い敷地に裏通りまで一列に並んでいます。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき

アアは行田の『足袋蔵ギャラリー“門”』2018.05.05

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」“門”は毎年恒例となっている木暮照子さん主催・木心会による木の人形展、そして、力丸潮展、そしてパン屋です。<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=4>

足袋蔵ギャラリー門 パン工房KURA

⑦足袋蔵ギャラリー 門
大正5年建設の足袋蔵を改装したギャラリー。
不定期ですがイベント等が開催されています。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
木心会人形展

77は行田の『大澤蔵』2018.05.06

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」蔵の中を一举公開。行田唯一のレンガ蔵の設計図も拝見できました。いにしへの足袋屋を覗くことができました。行田のむかしの風景のスライドを上映。<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=3>



大澤蔵

関東大震災の教訓から
大澤商店が大正15年
に建設した行田で唯一
のレガシ蔵（文庫蔵）
です。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
なるほど文庫蔵

ア7は行田の『松坂屋蔵』2018.05.07

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」今回発公開となりました「松坂屋蔵」では、クラフト木楽屋さんが国産間伐除伐材を素材に企画製作をした暮らしに寄り添う木丁品を出店。実演あり。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/archives/2018-02-01.html>



②松坂屋蔵

戦後まもなく創業した松坂屋建材株式会社の倉庫蔵です。
頑丈な造りの均整の取れたモルタル製蔵。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
クラフト木楽屋

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」奥貫蔵“あんど”の蕎麦いかがでしょうか？昼からビールを出してくれるお店でもあります。隣にある「くましん」駐車場はボンネットバスの乗り場＆整理券引換所になっています。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=3>



⑩あんど(奥貫蔵)

奥貫忠吉商店が、大正～昭和初期頃に建設したと伝えられる足袋蔵です。

現在は白壁が美しい大型の土蔵は蕎麦屋です。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
蕎麦屋

アアは行田の『イサミスクール工場』2018.05.09

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」「陸王」の放送でこはぜ屋の社屋として撮影されたこともあり、聖地めぐりされてる方が多い場所。敷地内には足袋屋横丁が登場しました。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=3>



イサミスクール工場

ノコギリ屋根の木造洋風工場が特徴の
最も歴史のある大規模足袋工場。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
足袋販売

アアは行田の『小川源右衛門蔵』2018.05.10

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」蔵出しグッズの展示販売をされてマニアの間で賑わいをみせています。蔵の前で販売しているラムネも大人気です。『陸王』パッケージのお酒を販売しています。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=2>



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
蔵だしグッズ販売



②翠玉堂

かつては山田荒物店の昭和4年の商家建築の店舗。
年代ごとに変身し今はパン屋とイベント会場です。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
パン屋

アアは行田の『十万石ふくさや行田本店』2018.05.12

「第 14 回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき「うまい、うますぎる」のフリーズでお馴染みの十万石まんじゅうの行田本店。説明不要くらい誰もが知る行田の老舗和菓子店ですが、洋菓子もあります。『陸王』の焼き印入りの十万石まんじゅうも販売。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=2>



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
お菓子屋

アアは行田の『森家土蔵』もりばん蔵』2018.05.13

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」もりばん蔵は2017年度に日本遺産として認定された古蛙庵（こああん）です。

今は私的な民芸館として活用されています。蔵めぐり初参加ですが、ご好意で書斎の見学ができました。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=2>



嘉永3年(1850)と明治45年(1912)棟上の2棟の土蔵造りの足袋蔵
前者は既存の土蔵を明治時代に足袋蔵に転用したもの。
現:私的民芸館「古蛙庵」。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
私的民芸館

アアは行田の『保泉蔵』2018.05.14

「第 14 回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」ずーっと長い奥行きのある蔵です。蔵めぐりのときにだけ一部を公開いただけてます。瀬藤貴史さんによるアート展:350 年前の伝統技法で作成された工芸の世界をお楽しみください。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=4>

保泉蔵

②保泉蔵

行田一の足袋原料商であった保泉商店の足袋蔵並みです。城下町特有の短冊型の細長い敷地に継ぎ足されています。



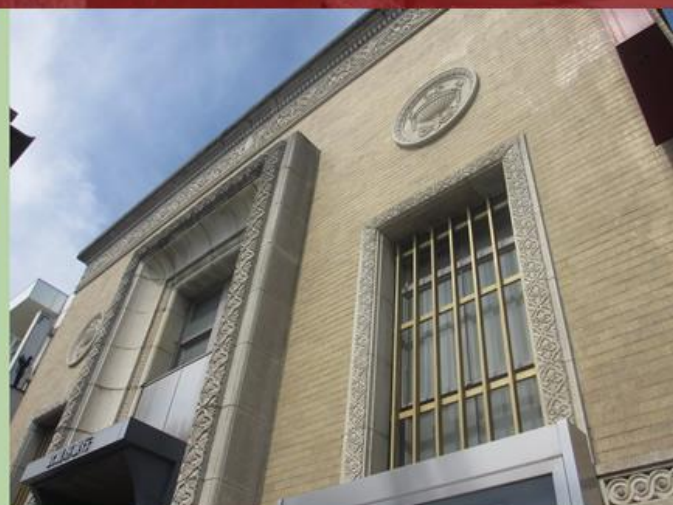
第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
友禅染作品展

「第 14 回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」翌年銀行として建設。鉄筋コンクリート造の階建の銀行建築で外壁はスクラッチタイル張りとし、開口部周りやコーニスには装飾を施した「カストストーン」を張る。昭和初期地方銀行建築の好事例。
<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=2>



⑭武蔵野銀

県内でも数少ない昭和9年竣工の銀行建築。
戦後は足袋組合会館となり、
その後銀行として足袋産業と深く関わる近代化遺産です。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき



⑮牧野本店・足袋とくらしの博物館

大正11年建設の元足袋工場で、伝統の足袋づくりの職人技を見学・体験できるレトロな博物館です。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
足袋づくり実演・販売



アアは行田の『牧禎舎』2018.05.18

「第 14 回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」藍染体験工房とアーティストシェア工房です。スタンプラリーの会場の中で一番広く、出展が多いです。牧禎舎での出展者一覧はこちらをご覧ください。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=2>

牧禎舎

⑰牧禎舎

昭和15年に建設した足袋・被服の製造を行っていた
牧禎商店木造二階建ての事務所兼住宅と工場。
現在は藍染体験、ティストシェア工房です。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき
藍染体験・作家作品販売

アアは行田の『忠次郎蔵』2018 05 19

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」忠次郎蔵はもととは小川忠次郎商店の足袋蔵だったので昔から「おがちゅう」と呼ばれ親しまれていたそうです。足袋蔵というはお店として使われていた蔵のことです。今はお蕎麦屋さんです。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=3>



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき

蕎麦、そば、うどん、ラーメン、お蕎麦屋

アは行田の『行田窯』2018 05 20

「第 14 回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」昨年 2017 年末に惜しまれつつ陶芸工房としての役目を終えましたが、蔵めぐりにあわせて特別に一般公開いただけるアとなりました。

<http://blog.livedoor.jp/tabigura/?p=4>



⑭行田窯

昭和初期に建てられた荒井八郎商店の二階建ての足袋蔵。
市内に残る数少ない木造の足袋蔵です。
その一部は陶芸工房として再活用し活躍しています。



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき

アアは行田の『旧忍町信用組合店舗』2018.05.21

「第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」昨年、2017年秋、今津蔵付近から水城公園へ移築作業されていた旧忍町信用組合店舗です。蔵めぐり開催に合わせて内覧できます。<http://blog.livedoor.jp/tabigura/>



第14回ぎょうだ蔵めぐりまちあるき




 ぎょうだ蔵めくりもちあるき 2018

【お問合せ】 きょうだ足袋蔵ネットワーク tel.048-552-1010 / 070-1339-8380

ぎようだ
蔵めぐり
まちあるき
スタンプ帳
2018 第14回



新町ほと
ステーション

昔の行田の写真展



松坂屋蔵

木工作品の展示販売



牧野本店

ものづくり大学展示
牧野本店でプチ起業



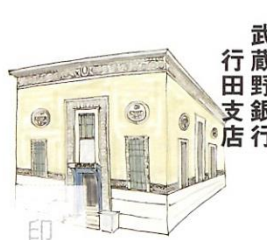
翠玉堂

パン、外観見学



奥貫蔵(あんど)

蕎麦、内部見学



武蔵野銀行
行田支店

外観見学



足袋蔵まちづくり
ミュージアム

受付、演奏



十萬石本店

菓子、外観見学



イサミスクール工場

足袋販売、
工場敷地内一部公開



田代蔵

外観見学



忠次郎蔵

蕎麦、
ゼリーフライ、演奏



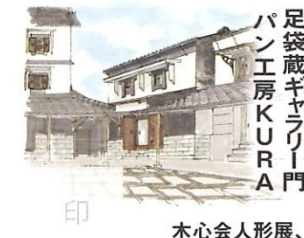
もりばん蔵

内部見学



小川源右衛門蔵

蔵出しグッズ販売



足袋蔵ギャラリー門
パン工房 KURA

木心会人形展、
パン、力丸 潮展



牧楨舎

藍染体験、
作家作品販売



保泉蔵

友禅染作品展



今津蔵

外観見学



大澤蔵

内部見学



足袋とくらしの
博物館

足袋づくり実演、
足袋、展示販売

交換券

平成30年4月21日〜22日限り
※おひとり様1回限り有効
※記念品がなくなり次第終了です。

全てのスタンプを集めて
記念品プレゼント

ボンネットバス
無料乗車券

平成30年4月21日〜22日限り
※おひとり様1回限り有効

整理券(くまのしん駐車場)で配
布と引換が必要。定員制。

100円引券

平成30年8月末まで
※藍染体験料1000円以上の方
おひとり様1回に限りです

牧楨舎・藍染体験工房
藍染体験料

入場無料券

平成30年4月21日〜22日限り
※おひとり様1回限り有効

足袋とくらしの博物館